

- 1 使用教材 教科書 財務会計Ⅱ（実教出版）
教 材 オリジナルプリント「学習のてびき」

- 2 単元名 外貨換算会計

- 3 本単元の目標

- (1) 知識及び技術

外貨換算会計の会計処理について実務に即して体系的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計上の提供と活用に必要な資質・能力を育む。

- (2) 思考力、判断力、表現力等

外貨換算会計の会計処理に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。

- (3) 学びに向かう力、人間性等

外貨換算会計の会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

- 4 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外貨換算会計の会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	外貨換算会計の会計処理に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	外貨換算会計の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

- 5 単元について

- (1) 教材観

外貨換算会計について、社会情勢を踏まえながら、会計処理に関する法規と基準及び会計処理を理解する。特に、ICTを活用し、インターネットでの調査やデータでの提出物管理、追加情報の配付等を積極的に行う。なお、ICTは、iPad及びロイロノート・スクール（以下、ロイロノートとする。）を活用する。

- (2) 生徒観

会計分野に苦手意識を持つ生徒も見られる。ほとんどの生徒は、教諭の話聞きながらメモを取ることや、集中して個別学習に取り組むことができる。しかし、苦手意識を持つ生徒は、それらができず、手が止まってしまう。グループ学習時に周囲が積極的にサポートしているが、苦手意識を持つ生徒の主体的に学習に取り組む態度は高くない。その結果、実力はついてきているが、定期テスト等の平均点の上昇に結びつかせることは難しい。これまでに3回の授業アンケートを実施しているが、授業の満足度については評価が高く、特にグループ学習やペアワークについての高評価が多い。苦手意識を持つ生徒の個別学習での活動がスムーズに進むような手立てに課題がある。

- (3) 指導観

「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指して、生徒たちが主体的に学び進めることのできる教材の作成を心がけている。授業内の説明も極力短く、手元の資料を読めば学習を進められるような工夫も実践している。

ペアワークやグループワークを漠然と取り入れるのではなく、他者の助けが必要な場面や、他者の意見を取り入れた方がよい場面を考え、協働的な学びの場を設定している。

ペアワークやグループワークは、組み方次第で学習活動の活発度が変化するため、ICTを活用して活発な意見交換をすること、状況により教師が適切な支援・指導をすること、組合せを固定せず、生徒の評価を基準に、平準化したグループ分けを行うこと等の工夫をする。

6 単元の指導計画（5時間扱い） ○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知技	思	態	評価及び評価方法等
1	1 2	課題：取引発生日・決算日の会計処理 次のドル建ての輸出取引と売掛金の 決済取引の仕訳ができるか。 ・ワークシートにそれぞれの内容を記入する。（個別） ・フォームにより、単語テストに取り組む。（個別） ・ロイロノート内のフォームへの入力を行う。（個別） まとめ：取引発生日・決算日の会計処理 次のドル建ての輸出取引と売掛金の 決済取引の仕訳ができる。	○	○		思：専門用語を理解し、表現できる。【フォーム】 ・理解していない生徒には、個別指導とともにペアワークを取り入れて理解を促す。 知：ドル建ての輸出取引と売掛金の決済取引の仕訳を理解している。 【ワークシート、観察】 ・理解していない生徒には、個別指導と、ペアワークでの支援を行う。
	3 本時	目標：外貨建取引について、自ら為替換算を行い、適切に会計処理できる 1 パーソナルショッパーという職業と為替の関係性について説明を聞く。 ・タブレット端末を活用して調べる。（個別） 課題：外貨建取引（売買取引）における取引発生日と決算日の会計処理が適切にでき、他者に提示できるか。 ・検索エンジンで「昨日の為替レートは」で検索をし、株探というサイトで調べる。 2 パーソナルショッパーになり、友人のニーズに合わせた商品をインターネットで検索する。（グループ） ・商品検索サイトで検索する。（個別） ・選んだ商品のドルでの金額を記録しよう。昨日のレートで日本円に換算する。	○		◎	主：自らICTを活用し、調べることができ、調べ方が分からない場合は、友達に聞くことができる。 【ワークシート、観察】 ・コミュニケーションが苦手な生徒には、教師が個別に支援する。 ・グループは、教師が事前に生徒の評価を基準に、平準化して分ける。 ・商品の検索が終了したら、「国と言語」の設定からドル表示に設定するよう促す。 知：選択した商品について、ドルを円に換算できる。 【ワークシート、観察】 ・早めに終了した生徒は、周囲の生徒の支援を行う。 ・指定されたレートを円に換算するよう促す。

		3 仕入時の仕訳をする。 ・掛取引による仕訳をする。(個別) 4 代金決済時の為替換算を実施し、普通預金から支払った場合の会計処理をする。 ・債務支払いの仕訳をする。(個別) 5 売上時の仕訳をする。 ・掛取引による仕訳をする。(個別) 6 代金決済時の為替換算を実施し、普通預金で回収した場合の会計処理をする。 ・債権回収の仕訳をする。(個別) 7 外貨建取引の売上債権・仕入債務残高が決算日にあった場合の会計処理を行う。 ・仕訳を記入する。(個別) 8 商品のプレゼンを行う。 ・商品を選んだ理由を、友人に説明する。(ペア) まとめ：外貨建取引（売買取引）における取引発生日と決算日の会計処理が適切にでき、他者に提示できる。 ・ワークシートの記入内容を確認し、ワークシートを撮影後に、ロイロノート内の提出箱へ提出する。(グループ)			・生徒が生まれた年のレートと現在のレートで換算するよう促す。 ◎ 思：ワークシートに従い、友人のニーズにあった商品を金額とともに提示することができる。 【ワークシート】 ・為替換算についてつまづく生徒は、グループの中で解決できるように支援することを指示する。難しいグループには教師が支援に加わる。
2	4 5	課題：外貨建取引について、為替換算や取引発生日と決算日において為替レートに着目し、適切に会計処理することができるか。 ・外貨建の商品売買以外の取引についてプリントに仕訳を記入する。 まとめ：外貨建取引について、為替換算や取引発生日と決算日において、為替レートに着目し、適切に会計処理することができる。		◎	知：外貨建取引について取引発生日から決算日までの会計処理が適切に理解できる。 【ワークシート】 ・理解していない生徒には、個別指導と、ペアワークでの支援を行う。